

南三陸 復興まちづくり通信

第21号(平成28年3月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

志津川で「くらしの懇談会」開催

志津川で整備が進められている東地区と西地区の復興公営住宅の入居予定者を対象にした「くらしの懇談会」が2月6日、旧志津川保健センターで開催されました。入居に向けて、コミュニティづくりや、管理自治会についての話し合いが目的です。

このうち午前中に開かれた東③街区の懇談会には21世帯26人が出席。「お茶っこタイム」の後、役場の担当者が工事の進捗状況について現場の写真を使って報告。さらに入居までのスケジュール、入居準備に関する説明が行われました。また、管理自治会についての説明がなされ、班長など役員の決め方について意見交換を行いました。同住宅は6月頃に入居本申し込みと住戸抽選会が予定されており、9月には団地見学会と入居説明会を開催。10月頃の入居開始が見込まれています。復興みなさん会のメンバー3人が、ファシリテータや記録係として懇談会のサポートをさせていただきました。



(建設が進む志津川・東地区災害公営住宅③街区)



(旧志津川保健センターで開かれた「くらしの懇談会」)



(入居が始まった伊里前復興公営住宅。B棟3階からA棟を撮影。平屋の建物は集会所)

伊里前復興公営住宅入居開始

歌津地区で建設が進められてきた伊里前復興公営住宅が完成し、2月15に鍵が引き渡され、18日から入居が始まりました。歌津中学校上団地の高台移転造成地に建設された同住宅は、集合タイプ2棟(50戸)と戸建て住宅10戸の計60戸が整備されました。

敷地内には集会所も整備され、LSA(ライフ・サポート・アドバイザー)2人が常駐して、高齢者の生活相談に当たります。高齢者のみの世帯や独居世帯も多く、新しいコミュニティづくりが今後の課題です。

横山仮設で「椿のまちづくりお茶会」開催

2月10日、登米市にある横山仮設住宅で「椿のまちづくりお茶会」を開催し、仮設にお住まいの方9人に参加していただきました。この日は、一昨年、ひと足早く入谷復興公営住宅に移り住んだ渡邊真里さんと娘のみはるちゃんも参加。「たらすもち」をお茶うけに椿茶を飲みながら、楽しい語らいのひと時を過ごしました。

渡邊さんは、公営住宅での暮らしぶりを紹介したほか、仮設から公営住宅へ移る際の引越しの経験談を披露。参加者の質問に答えながら、引越し準備についてアドバイスをしました。



(椿茶で乾杯する参加者のみなさん
＝横山仮設住宅集会所)



(高橋さんの説明に耳を傾ける参加者のみなさん)

公営入居予定者が引越しの勉強会

～平成の森仮設で「まちづくりお茶会」開催～

復興みなさん会が主催する「椿のまちづくりお茶会」が2月4日、平成の森仮設住宅集会所で開催されました。公営住宅入居予定者への情報提供と交流を目的としたもので、住民20人が参加しました。昨年2月に入居が始まった町営枡沢復興住宅の高橋洋治自治会長を講師に迎え、公営住宅での入居者の生活の様子や、引越しの経験についてお話を頂きました。この日は、当会制作の引越し準備について解説した「引越しお役立ちパンフレット」もお配りし、好評を得ました。

椿油のけんちん汁パーティ開催！

登米市南方仮設住宅の集会所で2月19日、復興みなさん会主催の「椿のまちづくりお茶会」が開催され、住民20人が参加しました。


「椿のけんちん汁パーティ」と銘打ったこの日の会では、同仮設住宅の集会所で椿の切り紙やブローチなどを製作している「きりこくらぶ」の会員が、椿の種から絞った椿油を使った「けんちん汁」を提供し、会食をしながら交流を深めました。この日は復興みなさん会が独自に制作した、公営住宅への転居準備に便利な「引越しお役立ちパンフレット」もお配りしました。



(椿油のけんちん汁、いただきまーす！)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

 JAPAN PLATFORM 「共に生きる」ファンド助成事業

この事業は、株式会社NTTドコモ様からの寄付金がJPF『共に生きるファンド』を通じて活用されています。